

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 プライマドライ J
 会社名 ULTRADENT JAPAN 株式会社
 住所 東京都渋谷区初台 1-34-14
 担当部門 薬事部
 担当者 薬事部長
 電話番号 03-5365-1760
 FAX 番号 03-5365-1759
 緊急連絡先 03-5365-1760

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的・化学的危険性	
引火性液体	区分 2
健康有害性	
特定標的臓器毒性 (単回曝露)	区分 3
皮膚腐食性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語： 危険

危険有害性情報：引火性の高い液体および蒸気
 皮膚刺激
 強い眼刺激
 呼吸器への刺激のおそれ/眠気やめまいのおそれ

注意書き

【予防策】

使用前に添付文書入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

【安全対策】

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。
 容器を接地すること/アースをとること。
 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
 取扱後はよく洗うこと。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

皮膚(または髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 気分が悪い時は医師に連絡すること。
 特別な処置が必要である (本資料参照)。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
 火災の場合：消火に CO₂、粉末、水スプレーを使用すること。

【保管】

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

【廃棄】

内容物/容器は各自自治体の規則に従って廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

該当なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

CAS 番号	化学名又は一般名	化学式	濃度又は濃度範囲
64-17-5	エチルアルコール	C ₂ H ₆ O	100%以下

官報公示整理番号 (化審法)： 2-202 (エチルアルコール)

労働安全衛生法 (表示・通知対象物質)： 規則別表第 2 の 205 (エチルアルコール)

4. 応急措置

吸引した場合：

症状が悪化した場合は医師の診察を受けること。
 必要に応じて酸素または人工呼吸を投じること。
 新鮮な空気を供給する。
 意識がない場合は患者を横向きに安定させて搬送すること。

皮膚に付着した場合：

皮膚の炎症が続く場合は医師に相談すること。
 衣類は再使用する前に洗濯すること。
 すぐに水と石けんで洗い、十分にすすぐこと。

眼に入った場合：

眼を開けたまま流水で数分間洗眼すること。
 症状が続く場合は医師に相談すること。

飲み込んだ場合：

吐かせないこと。
 嘔吐が起こった場合は誤嚥を防ぐために被害者を前かがみさせること。
 水で口をすすぐこと。
 医師の診察を受けること。
 意識のない人に口から何も与えないこと。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：

該当なし

最も重要な徴候及び症状：

該当なし

応急処置をする者の保護：

該当なし

医師に対する特別注意事項：

症状は血中アルコール濃度によって異なる。軽度のアルコール中毒は血中濃度が 0.05~0.15% のときに起こる。このレベルでは、約 25% の人に中毒の兆候が見られる。0.15% を超えると、人は明らかにエタノールの影響下にあり、このレベルでは 50~95% の人が臨時的に中毒状態にある。血中エタノール濃度が 0.3~0.5% のときに重度の中毒が発生する。0.5% を超えると、人は昏睡状態に陥り、死に至る可能性がある。患者に挿管した後、誤嚥を防ぐため、吸収されなかったエタノールを胃洗浄によって除去する必要がある。抑制剤の使用や過剰な水分投与は避ける。

5. 火災時の措置

消化剤

水噴霧、耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤。

特有の危険有害性

浮遊火災の危険を生じる可能性がある。

特有の消化方法

アルコールは淡青色の炎を出して燃えるが、通常の照明条件では非常に見えにくい場合がある。作業員は炎が見えなくても、熱を感じることでしかできない場合がある。アルコール火災の消火には細心の注意を払う必要がある。できるだけ遠距離から消火するか、無人ホースホルダーやモニターノズルの使用を推奨する。火が消えてから十分に経過するまで、容器に大量の水が入った場合は冷却する。安全装置の通気口から音が大きくなる場合やタンクが変色した場合は、直ちに退避すること。火災に巻き込まれたタンクからは常に離れていること。

消化を行う者の保護

自給式呼吸保護具を着用すること。
 完全防護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

呼吸保護装置を取り付ける。

環境に対する注意事項

地表水、地下水に流入させないこと。

封じ込め及び浄化の方法・器材

汚染された材料は項目 13 に従って廃棄物として処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 (局所排気・全体換気等)

該当なし

安全取扱い/注意事項 (接触回避を含む)

衣服との接触を避けること。
 蒸気やミストを吸入しない。
 換気・排気を行う。
 エアロゾルの発生を防ぐ。
 爆発および火災に対する保護に関する情報：発火源を遠ざける。

保管

製品ラベルを参照のこと。

8. ばく露防止及び保護措置

保護具

眼の保護 密閉性の高いゴーグル
 手の保護具 手袋は不透水性で耐性がなければならぬ。

9. 物理的及び化学的特性

外観 (物理的状態、形状、色など)

性状： 液体
 色： やや黄色
 臭い： アルコール臭
 pH： データなし
 融点・凝固点： データなし
 沸点、初留点および沸騰範囲： 78°C
 引火点： 13°C
 蒸発速度： データなし

燃焼性 (固体・気体)	なし
燃焼又は爆発範囲 (上限・下限)	なし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重 (相対密度)	0.79 g/cm ³ (20°C)
溶解度	1,000g/L
n-オクタノール/水分分配係数	データなし
自然発火温度	363°C
分解温度	データなし
粘度 (粘性率)	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

安定性

仕様に従った使用であれば分解しない。

危険有害反応可能性

蒸気と空気と爆発性の混合物を形成する可能性がある。

避けるべき条件

直射日光、極端な気温、炎、スパーク、熱

混和危険物質

アルカリ金属、強無機酸、酸化剤、アンモニア

危険有害な分解生成物

一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性 (経口) LD₅₀ = 5,600 mg/kg (モルモット)

12. 環境影響情報

水性環境急性毒性 データなし

水性環境慢性毒性 データなし

13. 廃棄上の注意

内容物/容器は、各自治体の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号：1170

国連分類

(輸送における危険有害性クラス)：II

15. 適用法令

化審法 2-202 (エチルアルコール)

労働安全衛生法

規則別表第2の205 (エチルアルコール)

毒物及び劇物取締法

規制対象外

消方法

法第2条第7項 別表1 第4類第3号

第4類 引火性液体 (アルコール類)

指定数量：400 L

16. その他の情報

本製品は、歯科用医療機器として小窩裂毒封鎖材の前処理を目的として設計されている。他の用途で使用しないこと。